

2020年2月14日

各 位

会 社 名 プレミアグループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 柴田 洋一
(コード番号：7199 東証市場第一部)
問 合 せ 先 上 席 執 行 役 員 金澤 友洋
(TEL. 03-5114-5708)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、更なる成長を目指し、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画「VALUE UP ʌ 2023」を発表したことをお知らせいたします。

また、上記中期経営計画で描くビジョンを動画にしたブランドムービーも公開いたしました。弊社 IR サイトのトップページよりご覧いただけます (<http://ir.premium-group.co.jp/ja/>)。

(注) 業績予想および将来の見通しに関する事項

当社の開示資料のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載につきましては、いずれも現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎としています。今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。



中期経営計画 「VALUE UP 2023」

プレミアグループ株式会社

1	変わらないミッション	P. 3
2	これまでの軌跡	P. 5
3	中期ビジョンについて	P. 8
3-1	ファイナンス分野	P. 14
3-2	故障保証(ワランティ)分野	P. 18
3-3	オートモビリティサービス分野	P. 20
3-4	海外戦略	P. 23
4	目指すべき将来像	P. 24
5	経営成績の見通し	P. 27
6	財務戦略	P. 29
7	ESG・SDGsに対する取り組み	P. 31


1. 変わらないミッション



**世界中の人々に最高のファイナンスとサービスを提供し、
豊かな社会を築き上げることに貢献します**

ファイナンス機能とサービス機能をさらに向上させ、
それをグローバルに展開していくことにより、
豊かな社会を作り上げていく

**常に前向きに、一生懸命プロセスを積み上げることでできる、
心豊かな人財を育成します**

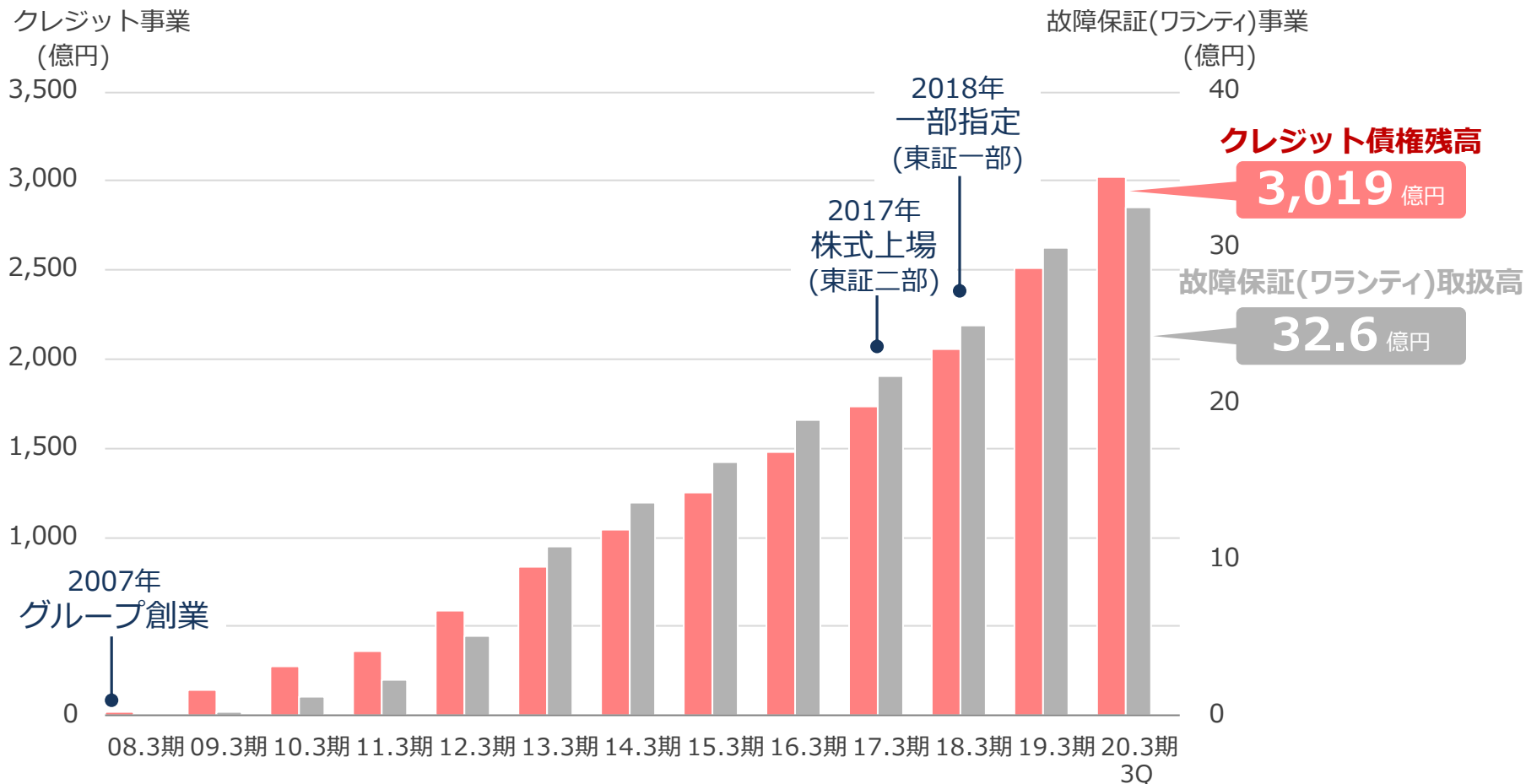


やる前から「できない、無理だ」と諦めずに、
突き抜けた発想と強い志を持ってイノベーションを促進し、
自ら次のステージを切り開いていく

2. これまでの軌跡

主要2事業が創業より順調に残高を積み上げて成長

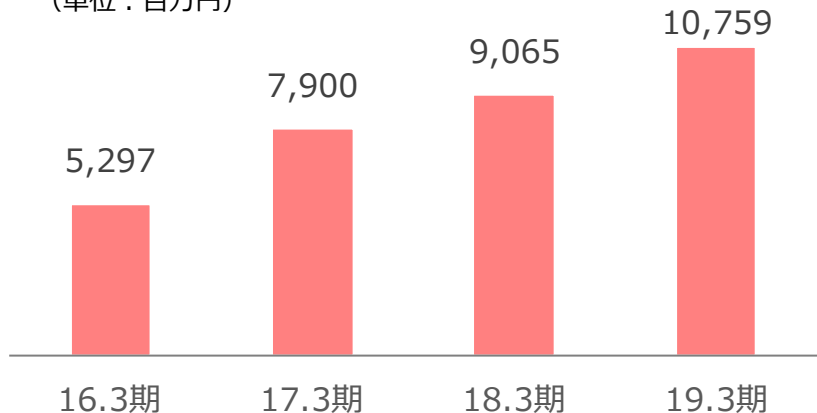
クレジット債権残高・故障保証(ワランティ)取扱高の推移



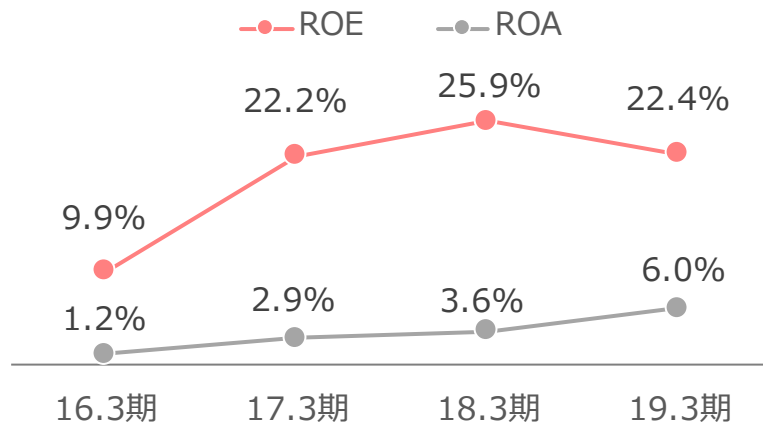
業績は急成長し、利益は4年間で4倍に拡大

営業収益

(単位：百万円)



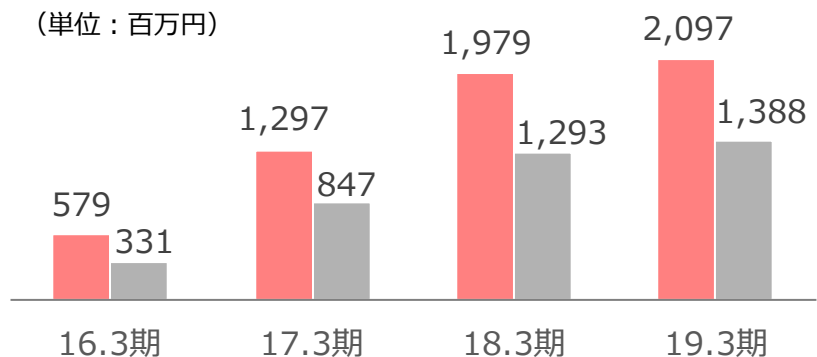
ROE・ROA



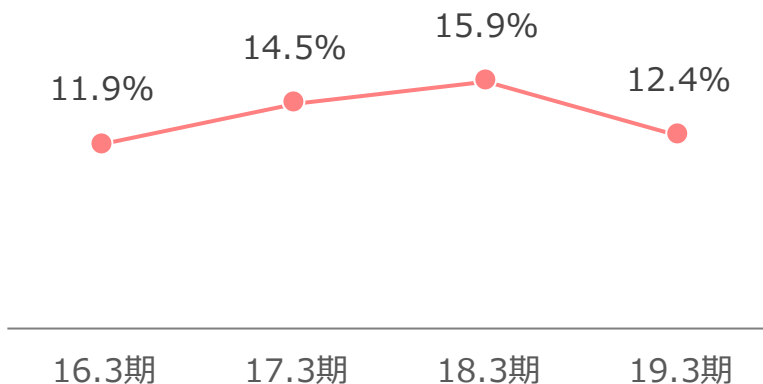
税引前利益・親会社の所有者に帰属する当期利益

■ 税引前利益 ■ 親会社の所有者に帰属する当期利益

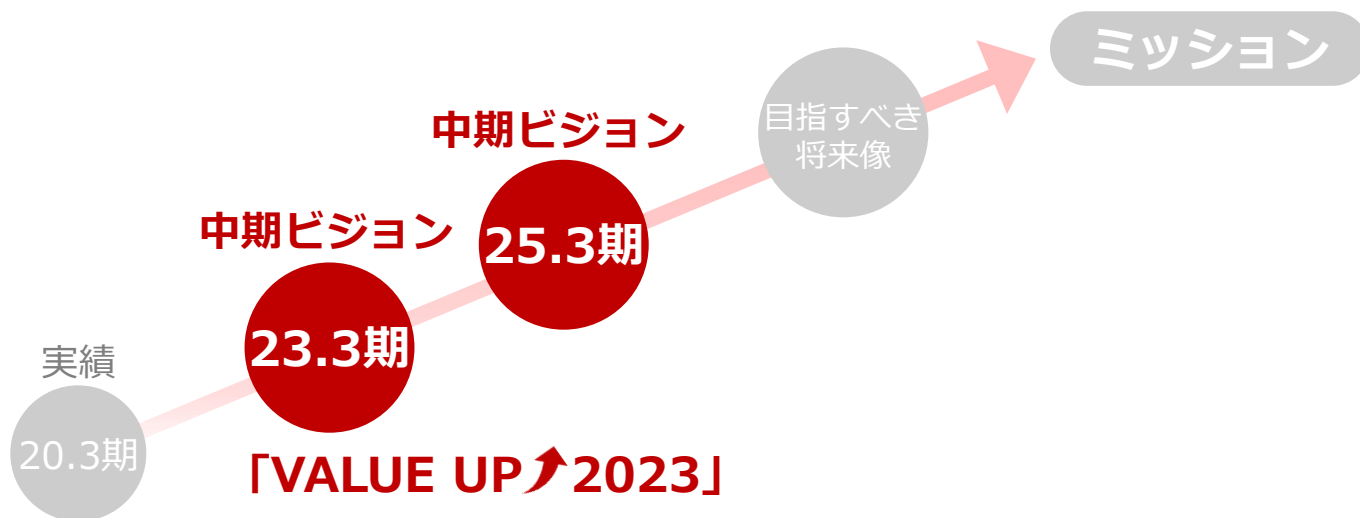
(単位：百万円)



自己資本比率



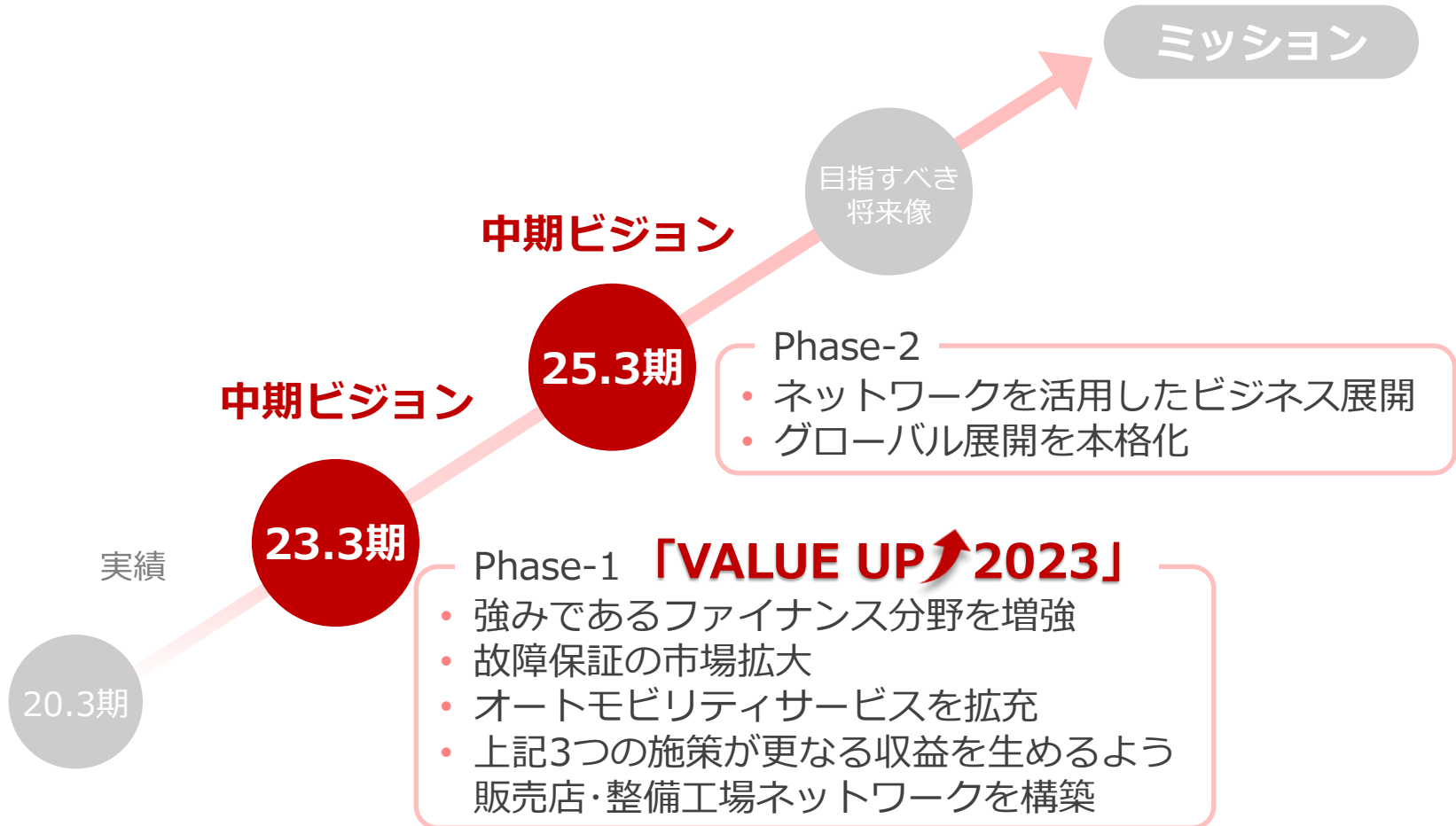
3. 中期ビジョンについて



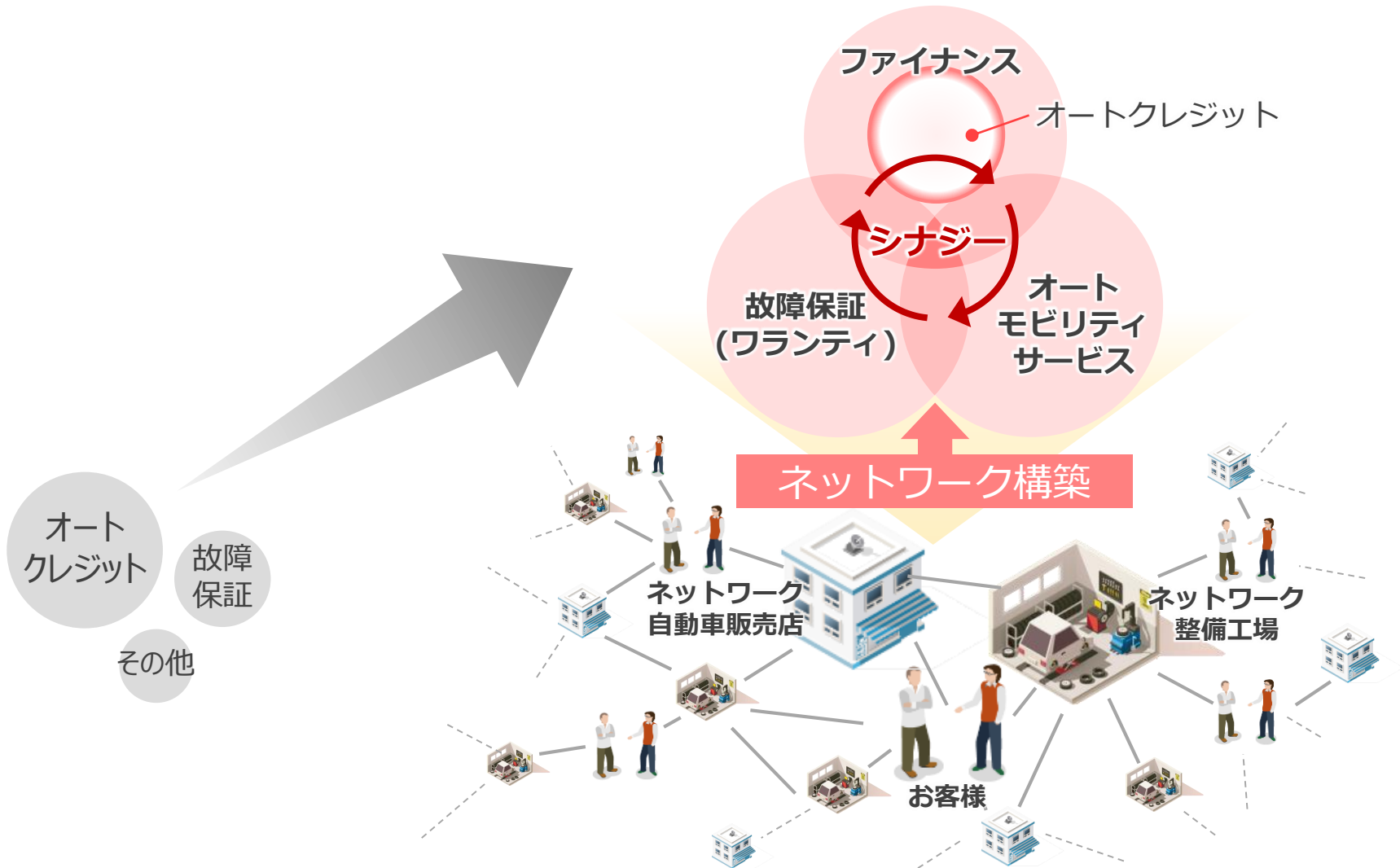
ミッション

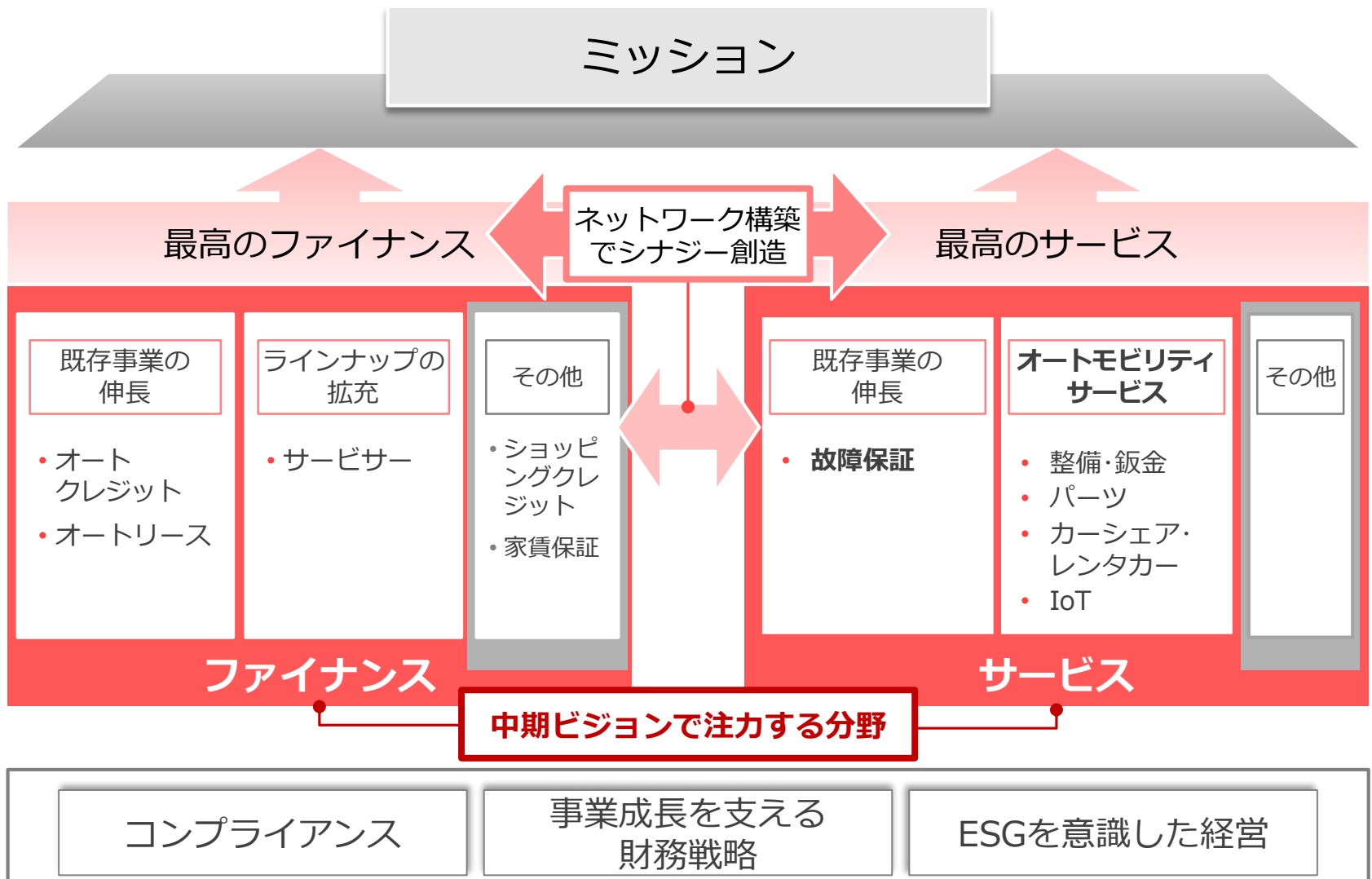
世界中の人々に最高のファイナンスとサービスを提供し、豊かな社会を築き上げることに貢献する

ミッション



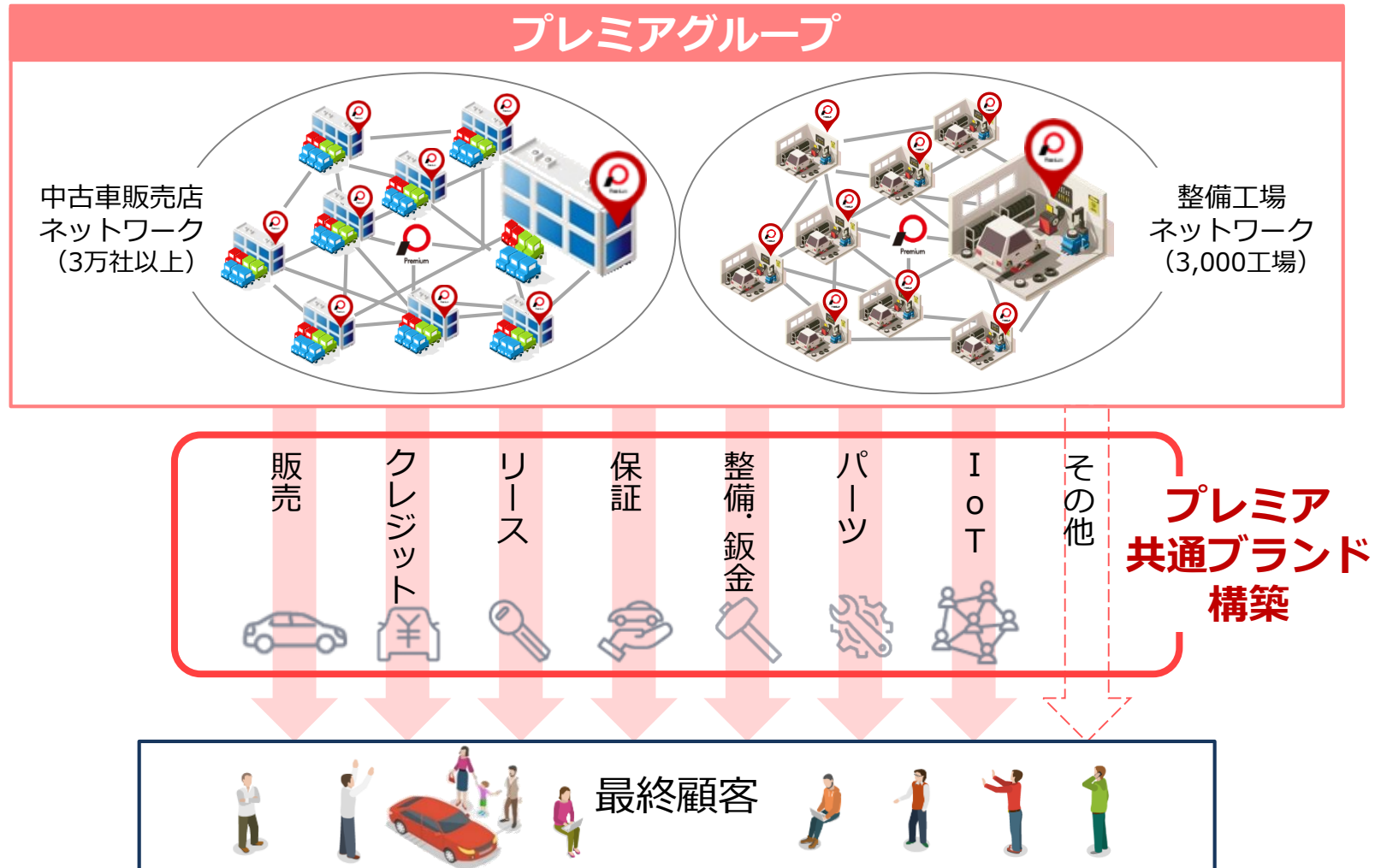
「オートクレジット企業」から「オートモビリティ企業」へ





中期ビジョンについて — 今後目指す姿の具現化

取引先である中古車販売店・整備工場をネットワーク化し、全体として収益が上がる仕組みを構築する。その先の顧客が便利かつ円滑なカーライフを送れるようサポートする



3-1

ファイナンス分野

3-2

故障保証(ワランティ)分野

3-3

オートモビリティサービス分野

3-4

海外戦略

ファイナンス分野の中期ビジョントピックス

オートクレジット

個人向けオートリース

サービサー

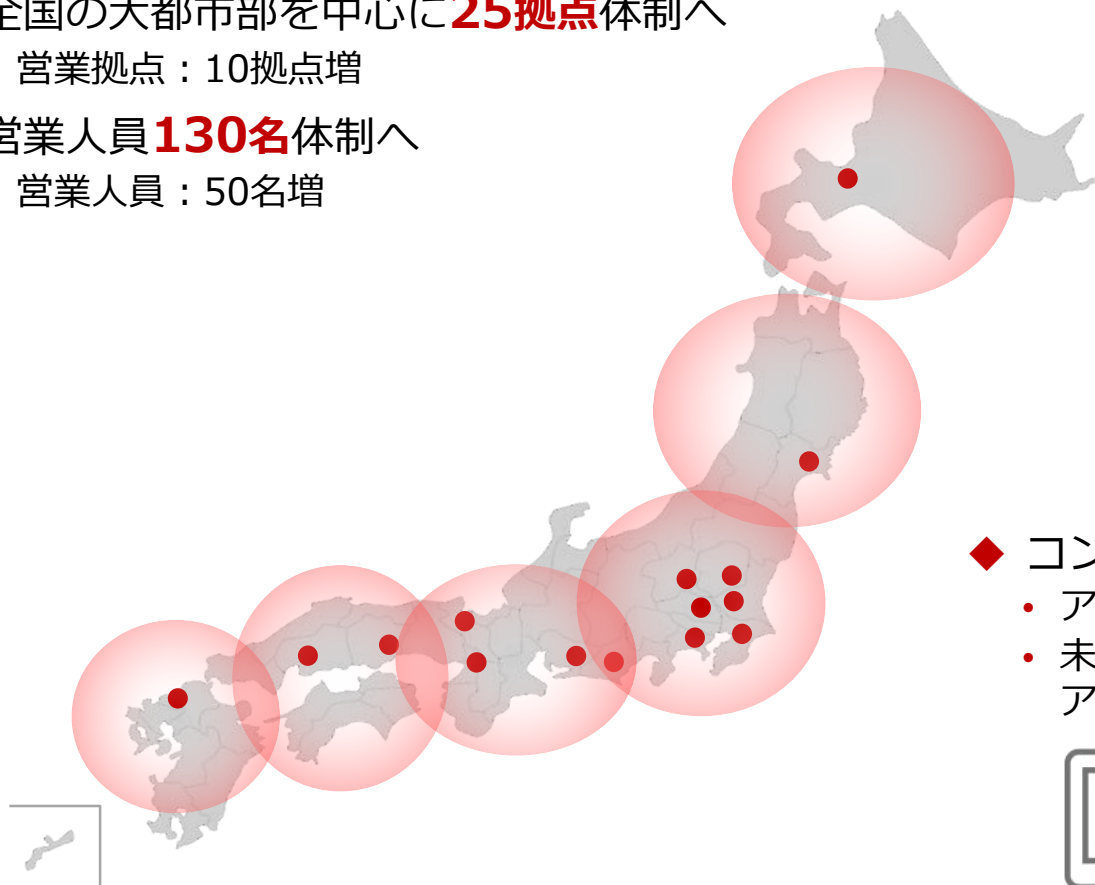
■ オートクレジットの営業拡大

◆ 全国の大都市部を中心に**25拠点**体制へ

- 営業拠点：10拠点増

◆ 営業人員**130名**体制へ

- 営業人員：50名増



◆ コンタクトセンターの拡充

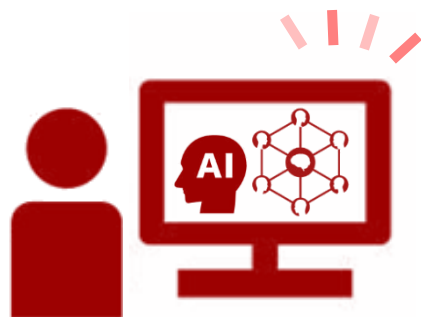
- アウトバンド型
- 未稼働加盟店・未開拓エリアの
アプローチ開始



(注) 営業人員は、オートクレジット事業の人員のみ集計
パート・アルバイト社員は含まず

■ オートクレジットのバックヤードの効率化

自動審査体制確立



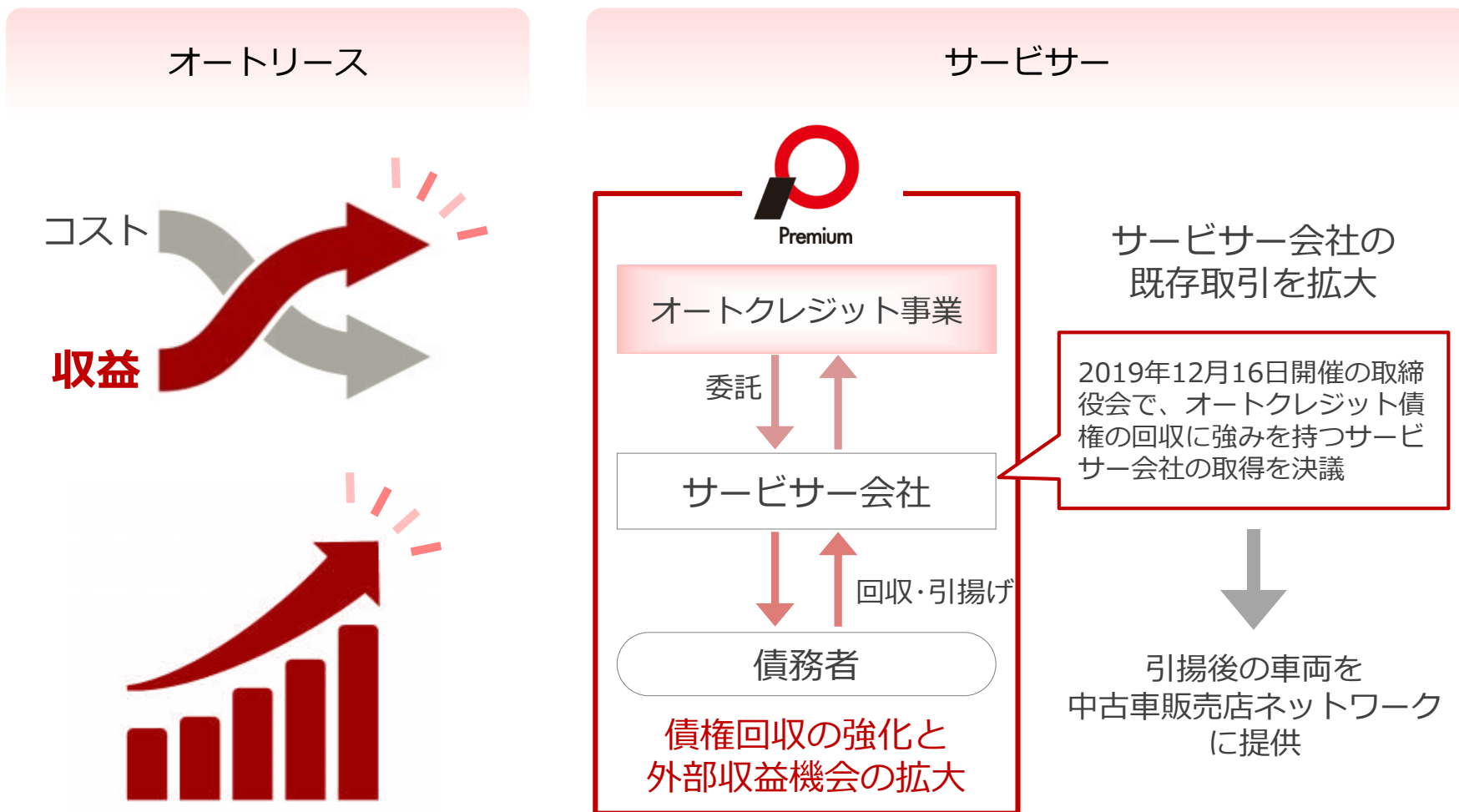
ペーパーレスの実現



バックヤード機能を
地方に移転させ
地方創生&コスト削減



- 個人向けオートリースは早期の収益化を目指す
- 債権回収はサービサー会社の取得により、債権回収の強化と外部収益機会の拡大を図る



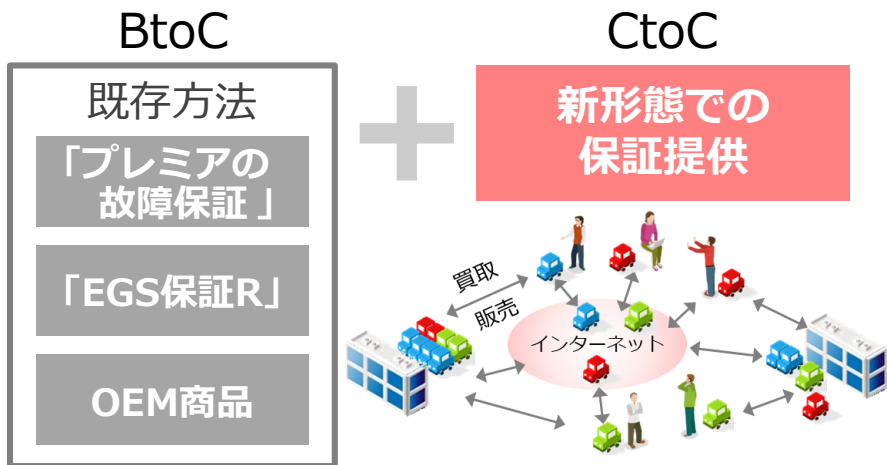
故障保証(ワランティ)分野の中期ビジョントピックス

市場自体の拡大が命題

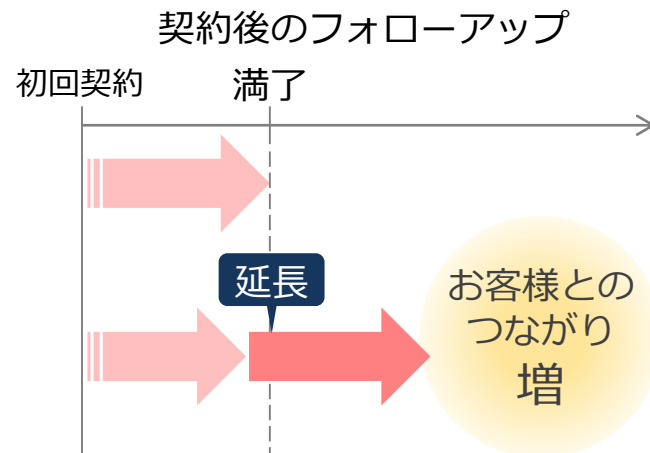
- 既存販売の強化と新形態での保証提供
- 延長保証の商品開発
- 故障修理のビッグデータ活用によるマネタイズ
- 認知度向上のための広告施策実施

中古車を保守することで
廃車を減らすリデュース (Reduce)を
推進

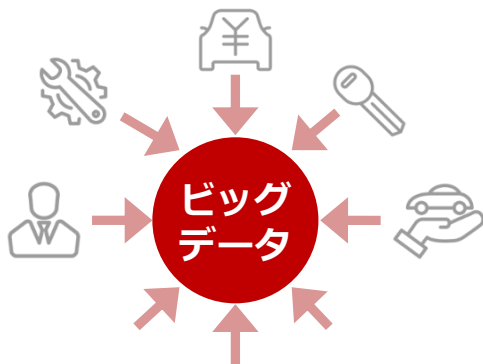
既存販売の強化と新形態での保証提供



延長保証の商品開発



故障修理のビッグデータ活用による
マネタイズ



認知度向上のための広告施策実施



プレミアムグループにおけるオートモビリティサービスとは
**自動車流通事業を運営するうえで必要とする
 複数サービスを提供すること**

新3Rのビジネスを推進 (リデュースビジネス(Reduce)はP.18_故障保証)

1 リサイクルパーツビジネス (Recycle)

リサイクルパーツビジネスのバリューチェーン

自動車解体工場をネットワーク化
 リビルトメーカー会社をM&Aで取得

部品商を運営する会社をM&Aで
 取得し、販路を開拓

ネットワーク先の中古車販売店・
 整備工場に提供

2 リユースビジネス (Reuse)

リユースビジネスのバリューチェーン

サービサー会社をM&Aで取得

引き揚げ車両の査定
 販路の開拓選定

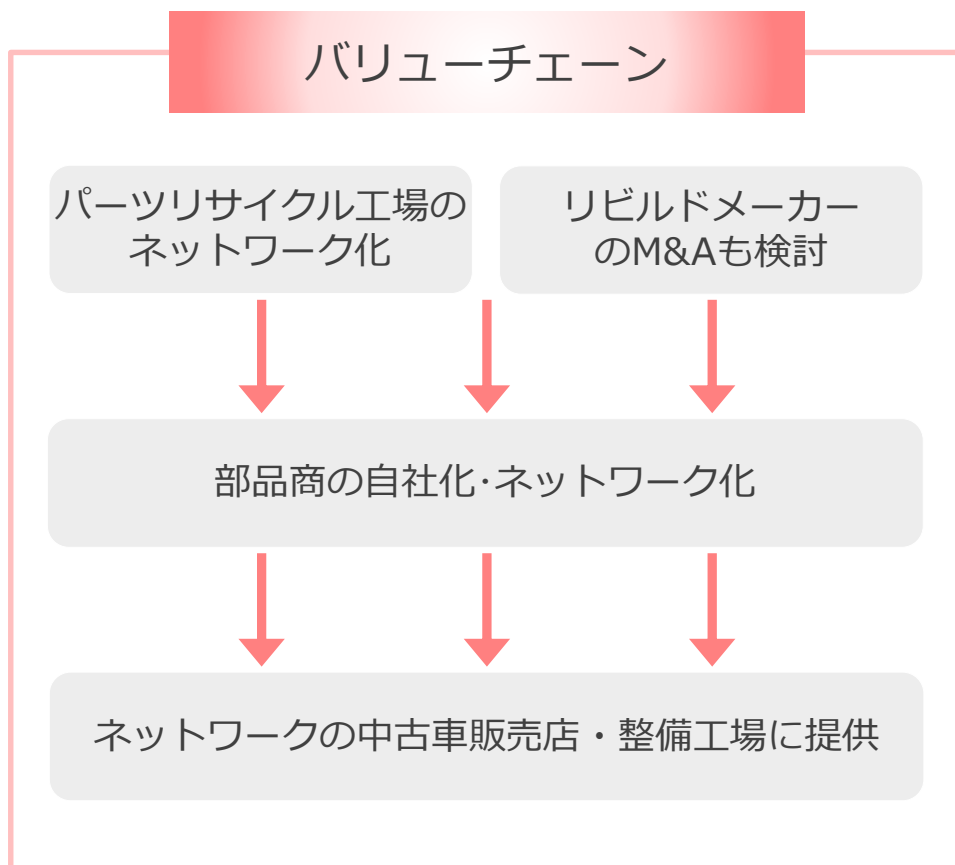
ネットワーク先の中古車販売店・
 整備工場に提供

3 リペアビジネス (Repair)

バリューチェーンの下流である整備工場に対して、以下のサービスを行う。

- ・ 自社ブランド工場での環境先進的取組 (水性塗料の使用)
- ・ 他整備工場への品質向上支援 (ノウハウの供与)
- ・ 人材派遣
- ・ ロードサービスの内製化

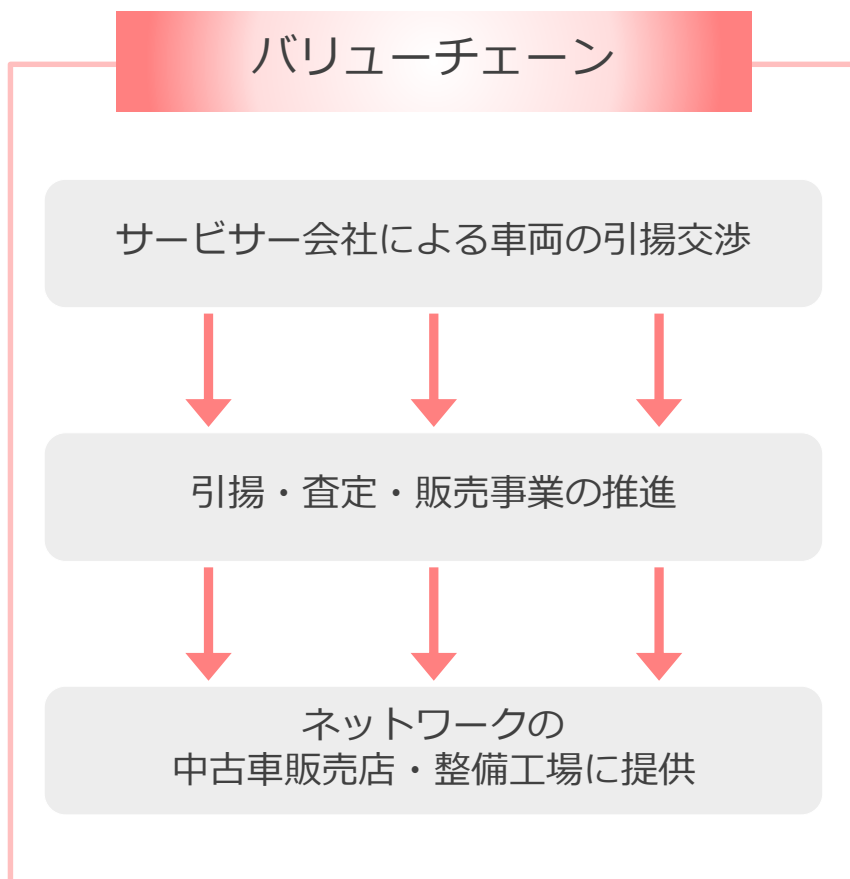
1 リサイクルパーツビジネス (Recycle)



日本の優良部品を海外に届ける
ビジネスを行う



2 リユースビジネス (Reuse)



3 リペアビジネス (Repair)



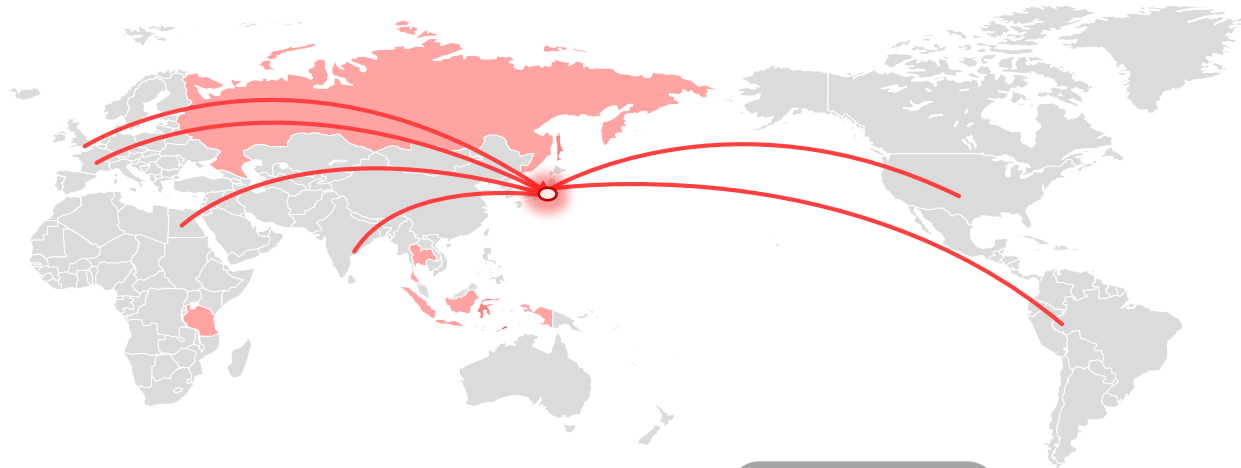
- 自社ブランド工場FIXMANでの環境先進的取組（水性塗料の使用）
- 他整備工場への品質向上支援（ノウハウの供与）
- 人材派遣
- ロードサービスの内製化
- FIXMANブランドの全国展開

3-4. 海外戦略【Phase-1,2】

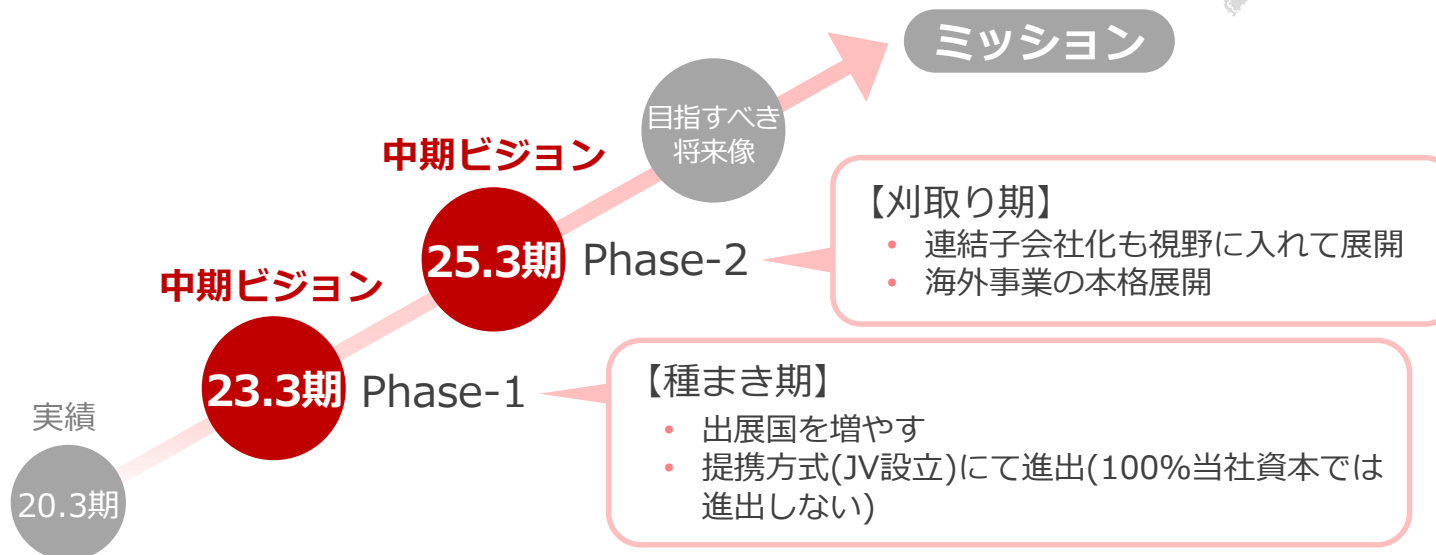
■ 日本から世界へノウハウが広がっていく

ミッション

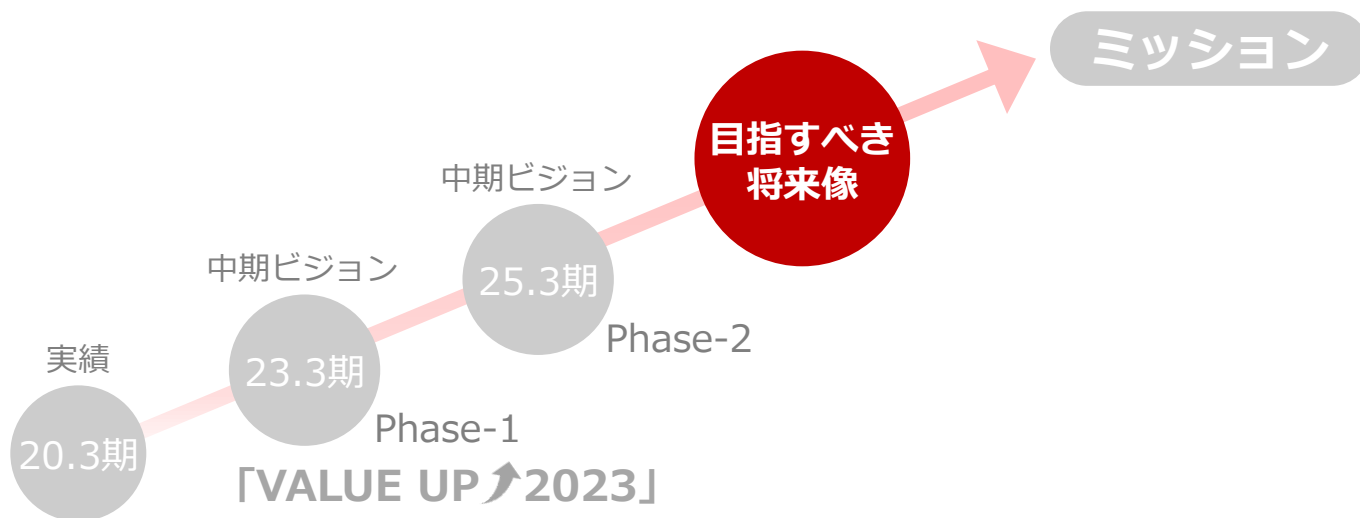
世界中の人々に最高のファイナンスとサービスを提供し、豊かな社会を築き上げることに貢献する



ミッション



4. 目指すべき将来像

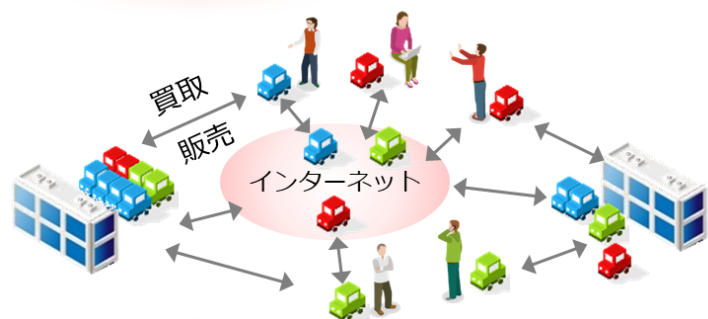


変化の激しいモビリティ業界に対応していくことが必要

運転に関する
ビッグデータの集積

伝統的なBtoC
販売形態の変化

自動運転の進化



カーシェアリングの
台頭

MaaS化の進行

クルマの先進機構化

拠点の拡大

ネットワーク構築

バリューチェーンの下流である
中古車販売店、整備工場のネットワーク化を推進

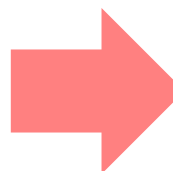


全国のネットワーク網で
ブランディング施策を実施

3万社の
自動車販売店

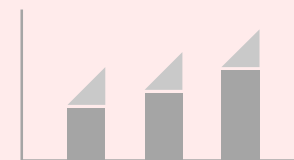


3,000社の
優良整備工場



ネットワーク構築後

オートモビリティサービスの
サブスクリプション化の検討



全国ネットワーク網での
統一看板の掲示



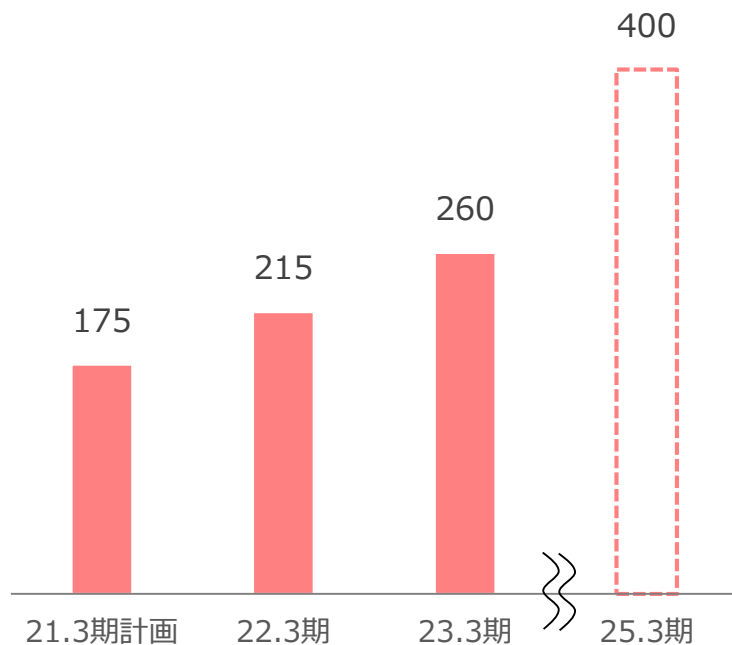
オートクレジット、故障保証を
利用する顧客ひとりひとりの
専用コンシェルジュ工場を用意する



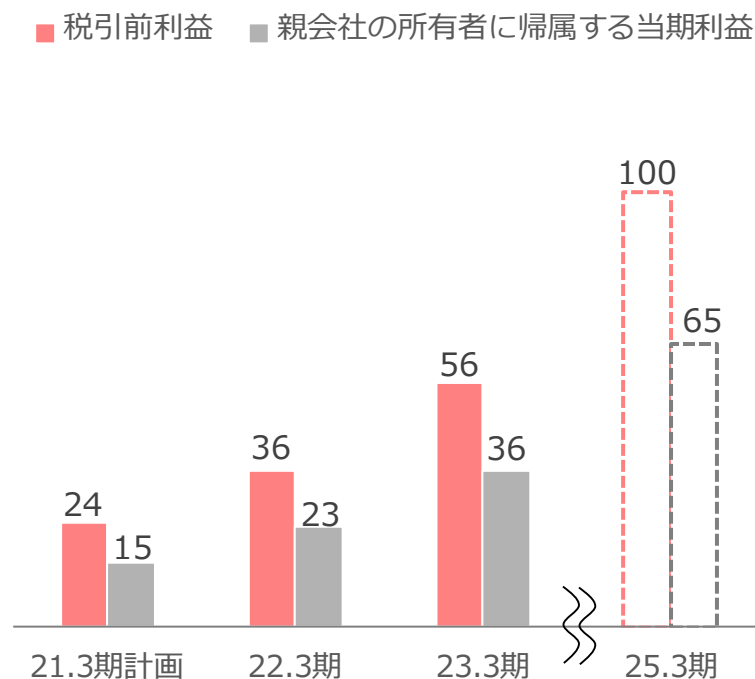
etc...

5. 経営成績の見通し

営業収益(億円)



税引前利益・親会社の所有者に帰属する利益(億円)



6. 財務戦略

ROE

37.2%
【2023年3月期】



24.8%
【2019年3月期】

純資産総額

110億円
【2023年3月期】



54億円
【2019年3月期】

時価総額

1,000億円
【2023年3月期】



約**270**億円
【2020年1月31日時点】

7. ESG・SDGsに対する取り組み

E 環境



■ 資源循環型社会への取り組み

3R+ α ビジネスの推進

- リサイクルパーツビジネス (**R**ecycle)
- リユースビジネス (**R**euse)
- リデュースビジネス (**R**educe)
- リペアビジネス (**R**epair)

■ 脱炭素社会への取り組み

太陽光発電の普及促進 (ECOクレジット)、ペーパーレスへの取り組み

S 社会

■ 人材育成

- ・ 研修会社を設立、社員教育の内製化へ
- ・ 若年層（新卒・第二新卒）の通年採用による就業機会提供

■ ダイバーシティの推進

- ・ 女性活躍推進のプロジェクト「Lean in Premium」による啓蒙活動
- ・ 若手管理職の積極登用、外国人の積極採用

■ 働き方改革

- ・ 各地でオフィス移転やレイアウト変更を行い、働きやすい空間・動線を創出
- ・ 有休休暇の取得推進（年2回の長期休暇取得制度）

■ 人権尊重

- ・ 差別やハラスメントのない職場環境実現・事業活動推進のため、階層別の各種研修やコンプライアンス研修の実施



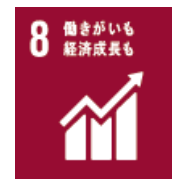
3 すべての人に健康と福祉を



4 質の高い教育をみんなに



5 ジェンダー平等を実現しよう



8 働きがいも経済成長も

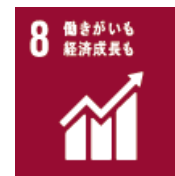


9 産業と技術革新の基盤をつくろう



10 人や国の不平等をなくそう

G ガバナンス



■ リスクマネジメント

- グループリスク管理委員会を設置し、海外子会社も含むグループ各社の事業リスクを分析・把握の上、適切に管理
- 事業継続計画(BCP)を定め、非常事態時の損害の最小化と中核事業の継続又は早期復旧を可能とする業務手順の整備、訓練、見直しを適時実施

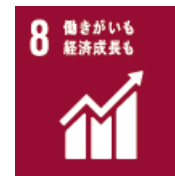
■ コンプライアンス推進

- 行動規範に基づいた自発的な行動を促すため、個人情報保護やインサイダー取引防止など各種研修を実施
- 反社会的勢力排除についての基本方針を策定し、厳格に運用

■ 役員人事／報酬

- 独立社外取締役が過半数を占める、任意の指名報酬委員会を設置
- 持続的な企業価値向上のインセンティブのため、株式報酬制度を導入

G ガバナンス



■ コーポレートガバナンス体制の継続強化

